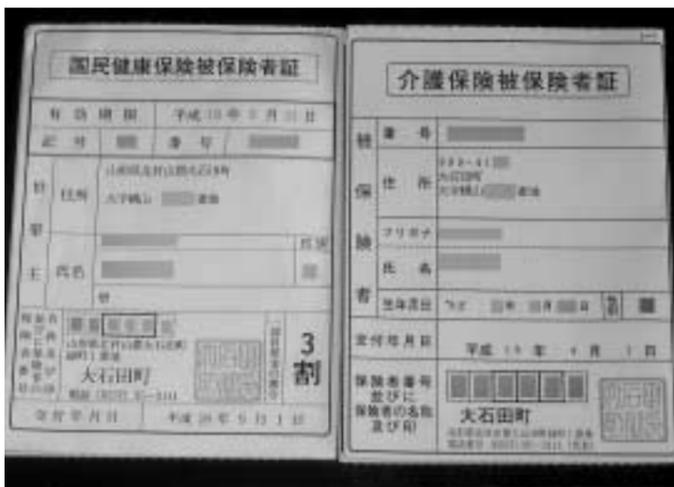


基金を利用し、高い国保税の引き下げを

町長…税率引き上げを前提に協議していく予定



遠藤 宏司 議員



保険料の値上げに頭が痛い

収入の減少、生活苦から国保未納者激増
20年前に比べ、米の売り上げは半分以下です。町の国保税は一人当たり6万円台で、県内の町村で12番目に高く、4万、5万円台の町は19あります。基金保有額は一人当たり5万8千円で、県内で第3位です。必要額の基金を残しても国保税の引

き下げは可能ではないでしょうか。
町長 所得の減で課税額が減る一方、医療費は増額で2千万円の基金取り崩しの見込みです。後期医療制度で財政負担が増え、厳しい財政運営が予想されます。国保税は税率引き上げを前提に国保運営協議会で協議していく予定です。
横山地区区流雪溝の完成の目標年度はいつですか。便利な流雪溝にするため住民への説明や意見聴取を充分おこなう考えはありますか。
町長 町道部分は平成20年度に着工し、工事完了は平成23年度を目標にしています。事前に事業内容を地域住民に説明し、理解と協力を得ながら事業を進めます。
教育委員会は、平成13年に出した建議と今回の中間報告で、最良の教育環境は、新たな場所と結論を出しました。町長は予算の編成権と執行権の絶大な権限があり、さら

に、学校の設置責任者です。一日も早い開校に責任を果たすべきです。
町長 適正な教育環境を早急に提供する。教育委員会の計画を尊重し、財政状況と整合を図り、町民が納得できる統合中学校整備を進めます。



待たれる流雪溝整備（上宿地区）



農政改革の中で始まった農作業（豊田育苗センター）



星川 久 議員

水田農業の今後の取り組みは 町長…売れる米づくりの基盤確立をめざします

水田農業の現状と今後の取り組みはどうか。
町長 売れる米づくりの基盤確立をめざします。
経営安定対策を今後どのように進めるのか。
町長 農地解放以来最大といわれる、戦後農政の大転換政策であり、改革の動向を見据え、情報を提供し、振興育成に努めます。
小規模農家の対応と、農地・水・環境保全向上対策の状況は。
町長 担い手以外の小規模農家に対する米価下落対策は、稲作構造改革即新事業で対応していきます。農地・水・環境保全向上対策、申出状況は、18集落、1,281haです。村山ブロックでは、

当町のみが、営農活動支援に取り組み、特別栽培米生産農家を積極的に支援し、かかる負担金は新年度予算に新規事業として計上します。
耕作放棄地の現状と対応は。
町長 山間部や耕作不便な農地にその傾向が見られ、農家個々の事情による耕作不能となるケースも潜在しています。今後、農業委員会との連携を密にして対応していくべき重要な課題と考えています。
当町では現在、耕作放棄地はいくらの面積か。産業振興課長 現在、遊休農地は水田関係のみで78haあります。現在、町として要活用



町内でも増えつつある耕作放棄地

農地の対策として基本構想の見直しをしています。
食農教育の推進と市民農園の拡充は。
町長 学校給食への食材提供をはじめ、学校教育側の求めに応じて、食農教育を通じて児童とのふれあいの場を持つなど、農業に対する理解の推進に努めます。